部落解放同盟京都市協議会

議　長　　宮　崎　　茂　様

メッセージ

２０２１年度部落解放同盟京都市協議会定期総会のご開催を心よりお祝い申し上げます。また日々、ご活躍されておられる皆様に敬意を表するとともに、日頃は、私たち自治労京都市職員労働組合の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

私たち公務労働者を取り巻く状況は依然として厳しく、労働組合を取り巻く環境も大きく変化しようとしています。さらに、新型コロナウィルスの感染拡大防止に関連して「新しい生活様式」の定着や「対応戦略」の実践がすすめられ、引き続き職場環境や働き方の対応が求められる状況となっています。

市民に信頼される労働組合として、社会の安心・安全・信頼の基礎となる地域公共サービスの担い手としての責任を果たし、安心して生活できる社会保障制度の確立をはじめ、地方自治の充実発展と、平和憲法の堅持、そして、自治体労働者はもとより、全労働者の生活と労働条件の一層の前進が喫緊の課題であります。

部落解放同盟京都市協議会の皆さんにおかれましては、今定期総会を契機とし、宮崎議長を先頭に、部落の完全開放、すべての差別撤廃に向けた、力強い運動を一丸となって邁進されることをご祈念申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

２０２１年６月１５日

自治労京都市職員労働組合

中央執行委員長　森本　尚秀